

シリーズ 「私たちの思い」



神 悟 (じん さとる)
柏崎刈羽原子力発電所
第一保全部 土木・建築担当
昭和55年入社

東京電力に入社したのは、電力需要が年々増大し、日本各地で原子力発電所が建設されてきた昭和55年。柏崎刈羽原子力発電所の1号機建設の担当者として、砂丘に松林が広がる敷地に着任し、電力マンとしての第一歩を踏み出しました。それからは、福島や青森での勤務もありましたが、柏崎刈羽6・7号機の建設にかかわったり、中越地震、中越沖地震を経験したりと、ここは私にとって沢山思い出のある地です。

中越沖地震では、大きな揺れで緊急対応をするための部屋が使えなくなりました。その時、私は防災関係の業務を担当しており、以前に携わっていた建築の知識を活かしながら、建物の復旧やその後の耐震工事にあたりました。このような経験もあり、私は、「より災害に強い発電所を作っていかなければならない」という気持ちを人一倍持っていたつもりです。けれども、平成23年3月の福島第一原子力発電所の事故で、壊れるはずはないと思っていた原子炉建屋が水素爆発によって大きなダメージを受けているのを目の当た

りにして、「自分たちがやってきたことはこれで良かったのか？」と何度も何度も深く考える日々を送りました。

私は事故の後、福島第一の復旧にあたっていましたが、昨年11月から柏崎刈羽に戻り、建物の地震対策や津波対策に携わっています。常日頃、私が意識しているのは「安全対

安全対策に終わりはない。 様々な状況を想定して、対策を進める。

策に終わりはない。十分やった、これでいいはない」ということ。様々な状況を想定して、建物が壊れる可能性がないか、検討に検討を重ねる。そして、安全対策を徹底的に行う。柏崎刈羽での勤務は、今年で19年目。私の第二のふるさとです。この地域の方々に、原子力事故による悲しい思いを絶対させないという決意と覚悟で、より安全性の高い発電所にすべく、仕事に取り組んでいます。

平成28年6月撮影

昨日より今日、今日より明日。私たちは、より高い安全レベルを目指し挑戦を続けます。

シリーズ「私たちの思い」は、ホームページでもご覧いただけます。

TEPCO 新潟本社  <http://www.tepcoco.jp/niigata/index-j.html>



東京電力ホールディングス 新潟本社

025-283-7461

9:00~17:00 (土日・祝日・年末年始除く)

TEPCO